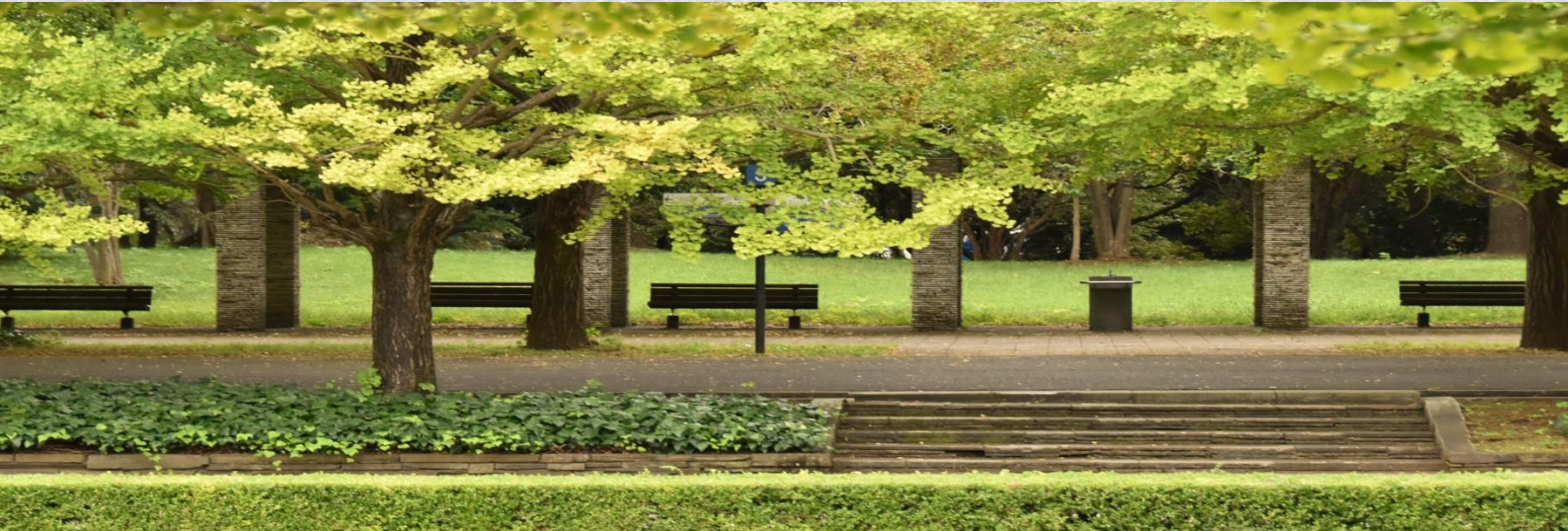
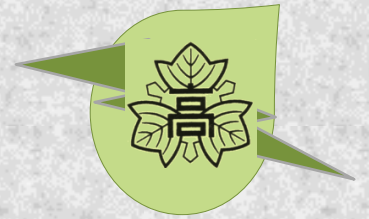


東京冀北

令和4年11月



ウイズコロナ社会とは



東京冀北会
会長
橋本和久
高19回卒

本年も、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていましたが、夏以降はワクチン接種が進みコロナ禍も沈静化の方向に向かっていると言われています。行動制限も緩和され、コロナと共存できる社会が見えてきたのではないのでしょうか。ウイズコロナという新しい生活・社会様式の中で、心身を癒し健康を取り戻す場として、同窓会はその一助になるのではないかと思います。

本年の「東京冀北会総会・懇親会」については、役員会で慎重に検討し、感染対策を徹底した上で実施することにし、現在開催の準備を進めています。コロナ禍で2年続けて総会が中止になったにもかかわらず、年会費の納入者は以前と変わりなく、「冀北の絆」の強さを感じています。

掛西同窓会は「歴史と伝統を継承することが大事である」との考えのもと、本部同窓会も3年ぶりに開催されました。

この自粛生活の中で大いに読書をしました。その中の長谷川卓著「嶽神伝」全十二巻をご紹介します。「嶽神」とは

山奥で暮らし、自然界と人間界の稜線に生きる「山の民」の中で数年に一度現われる偉大な「山の者」の尊称であります。「山の民」とは中世より本州の山奥に実在し、十数の家族で集落を作り、狩猟採集により里の者と薬草・獣肉・箕・籠等を塩・味噌・着物・鉄と交換し、生活していた放浪集団と言われています。安倍川・大井川・天竜川上流の山の民集落が登場します。物語は戦国時代に木暮衆、巢雲衆、久津輪衆等と呼ばれている山の者集団が甲斐・信濃・越後・駿河・遠江の地で北条・武田・上杉・豊臣・徳川の忍者と集落を守るために戦う中で、「山の民」は森の生き物と言われ山を守ることが生き抜く唯一の術と考え、若い時は敬虔な思いで自然から何物かを得て、老いた時は自らの命を自然に差し出すという正にエコ生活をしていたのです。

地球温暖化が叫ばれている現代、温室効果ガスの排出量(化石燃料燃焼)と吸収量(植林と森林管理)をプラスマイナスゼロにするカーボンニュートラルの実現が求められています。省エネルギー・再生可能エネルギーの利用実現がいかに重要かを理解する必要がありますと「嶽神伝」を読み終わり感じました。

コロナ禍においても、我が母校には明るい話題がありました。野球部は、夏の県大会においてノーシードよりベスト4に進み、甲子園出場かと思わせてくれました。そして、東京パラリンピック金メダリストの杉浦佳子さんは、



2022.7.24 高校野球選手権大会（静岡高校戦）



杉浦佳子さん

パラサイクリング世界選手権ロードレースで、ベルギー・ドイツ・カナダの四大大会において金メダルを受賞し、さらに全日本パラサイクリング選手権ロード大会で五連覇達成をするなど素晴らしい活躍をしてくれました。
今年こそは、同窓生が相集い旧交を温めることが出来ますよう、そして皆様方のご自愛を切にお祈り申し上げます。

「源氏物語」余談

西澤伸子 高11回卒



よみうりカルチャーでの講義風景

読売カルチャーで「源氏物語」を講義して15年になる。

「葵の巻」に難産に苦しむ正妻の葵の上を光源氏が励まし慰め「たとえどうなっても、私達の間柄なら必ず再び逢える時があるとのことですから、きっとお目にかかれましょう。」という場面がある。平安時代の俗信で女性は三途の川を渡る時、最初に契りを結んだ男性に背負われて渡ると言われていたから、そこで再会できると言う意味である。

この話をすると、女性受講者は一斉に「わり、嫌だわ、もうこの世だけで沢山!」、男性受講者は「光源氏は大変なことだ。大勢の女性がいたから何回

三途の川を行ったり来たりしたことだろう。」と大笑い。

受講生の皆さんの職歴は教員、主婦、会社員と様々だ。カルチャーセンターのセンター長いわく「大学受験講座のような講義をしないでください。みんなと楽しめる講座にしてください」と。さして、どうするか。雑談をするわけにもゆかず。

そこで平安時代女性が社交界へ登場する条件として、①身の丈に余る黒髪を持ち主であること。②琴、琵琶等の演奏が上手であること。③和歌が上手に詠めること。④書が上手であること。等をあげた。娘を持つ貴族は何とかして帝へ入内させようとそれぞれプロの女房をかしずかせ人並以上の姫にしてやる。うまく入内でき帝との間に男子を産めば次期天皇の外祖父になれると



土佐光起筆『源氏物語画帖』より
若紫を「垣間見」をする源氏

いう魂胆だ。女房達は自分の仕える姫に良い貴公子が婿として通って来るようにと姫の様子をふれまわる。噂を聞いた貴公子達は「垣間見」をして歩く。姫は外出を許されないの唯々待つだけの待つ恋である。とまあこんな話も織り混ぜて講座を盛り上げている。

余談の余談、受講者の話。「私が受講に出かける為お昼はなくなるので、おばあちゃんに『焼きそばを作っているから、チンして食べてね』と言って出てきたのよ。家に帰り、『おばあちゃん焼きそばの味はどうだった?』と訊くと『お前がチンして食べると言ったので、仏壇へ供えチンして食べたけど冷たくてまずかった』と言ったのよ」と。とんだチンちがいでした。皆様もこうならないようにお気をつけあそばせ。



英語からスペイン語へ



海野健一

高13回卒

高13回卒の海野健一です。この10月に満80歳になりました。

私は小さいころから外国語を自在に喋ることに強い憧れを持っていました。英語との接点は中学に入るまでありませんでしたが、西高に入ってから、谷誠一先生、片山盛耀先生の熱心なご指導をいただき英語の力はかなり向上したと思います。ただし、中高6年間の英語はいわゆる受験英語で、「話す」《聞き取る》力はほとんどゼロ（個人の話です）。異論はあるでしょうが、日本の英語教育の欠けている面を体現したようなものでした。教育制度のせいにしてはいけませんか。

そんなわけで、願望とは裏腹に会話能力は全く向上しませんでした。大学、大学院での6年間は理系だったこともあって語学教育は付け足しのようなものという感じでした。余談ですが、文学者の伊藤整さんの英語の講義があつて、教材が先生の訳書「チャタレー夫人の恋人」でした。講義室は一杯でした（笑）。当然私も受講しました。

卒業後建設会社に入り、研究開発を担当していました。30代の後半になつて、パリでの国際学会に研究発表する機会を得ました。初めての国際会議です。

3、4頁の論文梗概のほか、会議で口頭発表することが必要でした。事前にオーラルの原稿を作つて、当会社社にいた嘱託の米人ネイティブに見てもらいました。ミスターDという方です。

が、この方は面白い方でしたが、かなり皮肉屋さんで、一瞥しただけで、今風に言えば「何じゃこれは？」と笑いながらひとこと、「これは英語じゃないぞ」と言いたげ。私は英文はそれなりにできたという自信があつたのですが、僅かな自信も木っ端みじん。仕方なく指摘に沿つて直し本番に臨みました。

さて国際会議。口頭発表はミスターDの指導よろしきを得て何とかクリアしたものの、質疑応答に入ったら予想通りの大苦戦。断片的に分かる英語を頼りに何とか意味を付度してつたない英語で応答しました。冷や汗をかきながら無事？終了。

口頭発表の出来はまいちでしたが、論文の内容は主催学会に評価され優秀賞を頂いたので、まあ良かったと言ふべしです。

聴講者の中には日本人研究者もいて質問されましたが、お互い不自由な英語でやりとりするのでまるでつこしくなつて「もう日本語でやりましょうや」というハプニングもありました。もちろんチェアマンに笑いながら制止されましたが、しかし、会場の外国人受講者は驚いたと思います。

その後、50代になつてカナダのトロント近郊で別の国際会議があり、2度目の研究発表をしました。パリの会議から10年余、英語力は全く向上していないから、結果は推して知るべしです。

そして70歳で全ての仕事からリタイア。さあどうする？

英会話への願望は持ち続けていましたが、長年勉強しても喋れない、聞き取れないんだから、英語はもういいかな、と心機一転？スペイン語に挑戦することにしました。教材はラジオ講座のみ。それでも、始めた当初は西検6級、5級（初学者レベル）をクリアして、この歳でよくやった、と自己満足していたのですが、そのあとがいろいろな。4級以降は立て続けに跳ね返され、意気阻喪。それに75歳を過ぎてからは、記憶力減退に直面し、苦戦の連続。それで勉強方法を文法から会話中心の方針変更しました。



2018 メキシコ テオティワカン遺跡にて

4年前、スペイン語圏のメキシコに旅行しました。テオティワカン遺跡でみやげ物を買っていた少年たちと値段交渉をしたとき、「もつとまける」と話したら、少年が目を丸くして「あんたスペイン語が話せるのか」というから、ここぞとばかり「シー、シー、クラロ！（そうさ、もちろん）」と話し一気に値下げに成功しました。「おー、通じたぞ！」と無邪気に喜んだものです。というところで、今もなお懲りずに挑戦を続け、併せてボケ防止を図っています。コロナが明けたらスペイン語圏をまた旅行したいものです。

鈍臭く二拠点生活をやらまいか



橋山高昭
高14回卒

今年夏、東京東北会から会報寄稿の依頼があり、生来の筆不精に加え面倒くさがり屋の老生が、70年振りの小学生時代に戻り夏休みに出された宿題ができずにアタフタとしている様をご想像下さい。

さて、老生の私事ですが、昭和40年代初めの好景気とは言えない迄も



2022/5月 日本平ホテルにて我が山の神と

内の経済全体は右肩上がりの時代に外資系製薬企業（昨今新型コロナウイルスで景気が良い由）に就職し、大阪に15年。東京に25年。主に医薬学術部門、安全性情報部門にて安全性情報の収集・評価、行政当局への報告・折衝及び米国本社への報告等を担当しました。

定年延長時、退職後のソフトランディングを目的として実行出来た或いは目指してきたことを列挙しますと、第一に、友人がやっている医薬品の治験実施機関にて治験審査委員会の管理運営の手伝い、次いで通勤途上、長年気になっていた「石田秀芳本因坊囲碁サロン」の会員になり、土日は趣味の囲碁の飲み会が多く、腕前は余り上達せず）に加え、住まい近くの大学によ

るシルバーカレッジにて万葉集、古事記、日本書紀、中世史のうち吾妻鏡等の受講、民間の古街道研究グループ「歴史古街道団」に加入し、実地踏査を含むウォーキングに参加することでした。

これらと並行して静岡県御前崎市（旧浜岡町）の実家を別荘（現実には、そんなに格好の良いものではなく、親から受け継いだ負の遺産）として、先祖の供養と時々田舎暮らしに自己満足しています。我が山の神からは「アホだ、車を運転して田舎に行くな」と攻め続けられていますが、なに構うもんか。最近のベストセラー「八十歳の壁」の著者（精神科医）で、80歳超えの後期高齢者を「幸齢者」と定義された和田秀樹医師によれば、警察庁の資料を示しながら「高齢ドライバーは自動車運転免許を返納する必要はない」と断言されていることに我が意を得たりだ。老生は鈍臭く80歳を超えても二拠点生活をやらまいか精神で東名高速をドライブして行くぞ。（東京町田市在住）



孫が碁盤に白黒の碁石全部並べて

小さなコミュニティ



伊藤節治
高21回卒

卒業以来同級会には一度参加したただけで、東京東北会には顔を出すこともなく過ごして来ましたが、今回寄稿の依頼があり、古希を過ぎ懐かしさもあつて寄稿することにしました。

コロナ禍を経験し身近なコミュニティの大切さが言われています。第一の職場でニュータウンや都市再開発を行い、第二の職場で市民の皆さんのまちづくりを支援し、コミュニティづくりに関わって来ましたが、今携わっていることを紹介したいと思います。

千葉市花見川区に「TOMO」という『みんなのカフェ』があり、今そこに入り込んでいます。ある日の「TOMO」の様子をスケッチすると次のようになります。

3時を過ぎると16、7人の子供たちがランドセルを背負ったまま来て、宿題を始める。近くにある学校からトウモロコシ3箱の差し入れがあり、宿題を終えた子供たち、おばあさん、スタッフで皮をむきゆでて食べる。そのわきでは94歳と86歳の爺さん将棋が進んでいる。ウクレレ初心者ではあ

るが、チェロを弾くという女性がメロディーを、私がコードを進行すると、周

りでハミングが始まる。子供、ママさん、爺さんばあさんが集い、いろいろなことが即興で始まる。共感、共鳴が自然に生まれる、このゆるさ、自由さがいい。おばあさんは、86歳のおじいさんの付き添いできているが「何かお手伝いすることは無いか。おじやま虫にはなりたくない。」と以前こぼしていた。私も何もすることが無く、必ずしも居心地がいいわけではなかった。「なにか楽しみがある。なにかやることがある。」こうしたことが人が集うには必要ということに気付き、「TOMO」の人たちと誰もが集まれる場づくりを模索しています。



TOMOの日常風景



原子力に関係50年



赤堀 勉

高26回卒

私は今年6月で勤務会社の常勤を終了し、準非常勤勤務に職務変更となりました。

勤務会社は、環境測定（主に放射線関係）を主業務とし、原子力発電所・病院・RI研究施設（大学、民間会社）等数多くの顧客を対象としております。

私は高校2年の時、中部電力（株）浜岡原子力発電所を見学し「原子力関係を突き詰めてみよう」と思い、その後大学・勤務会社と50年が経過してしまいました。

この50年間は、当初原子力発電所（東電福島、中電浜岡）で環境測定業務に従事し、数多くの環境改善活動を推進しました。その後、病院・RI研究施設での営業を主業務としてRI検査（SPECT）、放射線治療（リニアック、陽子線治療、BNCT）、PET検診、RI研究等多種多様の利用場所を経験し、多くの顧客に対しまして業務協力をさせていただいてきました。

原子力発電所は、1980年代より随時稼働してゆき時代の花形産業であり（原子力カルネッサンス）とまで言わ

れておりました。しかし、1F（東電福島）事故発生により「原子力要らない産業」とまで言われるようになりました。関係していた者として、本当に辛い事です。

ロシアのウクライナ侵攻の影響により、エネルギー問題が世界経済を翻弄しております。資源が乏しい日本では、エネルギーセキュリティならびにベースロード電源（22%）確保のためにも原子力発電所再稼働、そしてカーボンニュートラルを推進することが必要です。

今後私としては、原子力平和利用活動に微力ながらお役に立てればと考えております。



浜岡原子力発電所

世界各地の食文化

名倉 理 高26回卒



1980年に就職。今も変わらず現役で揚水発電設備の開発設計に従事。

新規性のある自主技術のおかげで国際学会出席、海外顧客向けプレゼン、海外メーカーとの協業、トラブル対策など海外出張回数も3桁越え。海外で体験した食文化の一端を紹介します。

最初の出張は学会参加でパリ。一人でカフェに入る勇氣もなく、バゲットで1週間。塩加減と硬さが一番の好みですが、半日もたつとカリカリに乾燥し、噛み下すのも大変で赤ワインを浸して食べていました。今年の訪問でもバケットと赤ワイン三昧でした。

ベネズエラを訪問した時期は政情不安から現地通貨が対米ドルで20%に低下。ハイパーインフレは始まっておらず物価変わらずに所持金の外貨の価

値が5倍。食生活は贅沢させてもらいました。ステーキは当然のこと、なまぐすのカルパッチョや唐揚げも美味。海外での生ものはリスク大ですが、過去食あたりになったことがなく、こんな体質に生んでくれた両親に感謝です。エジプトにも数回渡航。鳩のローストが高級料理ですが、尾頭付きで出てくるので見た目はグロテスク。味は野趣あふれる鶏肉みたいな感。強い日差しを浴びた完熟野菜もおいしいのですが同行者の半数は食あたりでした。

21世紀には中国出張が増え、北京ダック、四川麻婆豆腐、重慶火鍋などの定番に加え、はまったのが湖南で食べた辣醬を掛けた臭豆腐の唐揚げと酒精40度前後の白酒。どちらも臭いがきつく、最初のころは周りの席から漂う臭いに辟易していたのがいつの間にか、俺たちも早く頼もうぜと。

米国コロラド州では、名物のロッキ

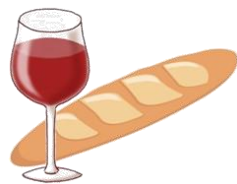


英国チップハンムの魚料理

1 マウンテンオイスター。海から1600kmも離れたデンバーでオイスターがとられる方はネットで検索してみてください。

違和感を持ったのは英国チップパンハムの魚料理。シェフに日本では頭が左向きだなんて右向きと尋ねたら、英国では車は左だと。大陸とは逆だよと言いたかったらしいが、一緒に食事した英国人達から、日本も車は左と突っ込まれていました。

仕事ではトラブル対応など大変なこともあります。ですが、このような体験ができたことで仕事に対する意欲も維持できたかなと思っています。



中野先生の思い出

石山 幸彦 高32回卒



中野敬一 先生

私はすでに30年近く大学の経済学部で教員として勤めており、研究や教育に従事してきました。研究の専門分野は経済史で、第2次大戦後のフランスの経済発展について、欧州統合との関連に注目しながら研究しております。この途を選ぶにあたって、私に大きな影響を与えた人物が二人います。一人は大学で研究方法を直接学んだ先生で、もう一人は掛川西高校で日本史を担当しておられた先生です。私の記憶が正しければ中野敬一先生とおっしゃいます。

歴史の勉強というと、単純な事実の丸暗記をイメージする方もいるかもしれませんが、そのイメージを根底から払拭してくれたのが、中野先生でした。中野先生の授業では、歴史上の出来事が発生するにはそれを惹き起こす原因があり、その原因に対して当時の人間が様々な反応をすることで事態が進展することが語られました。対立を生み、戦い、交渉、妥協によって何らかの結果をもたらします。一定のストーリーをたどって物事は進行し、結論に達するとそれがまた次の原因になる……。中野先生はこうした歴史の論理的展開を黒板に図で示しながら、明快に解説

しておられました。私はもともと歴史が好きでしたが、こうした歴史の考え方、捉え方はとても興味深く、魅了されました。

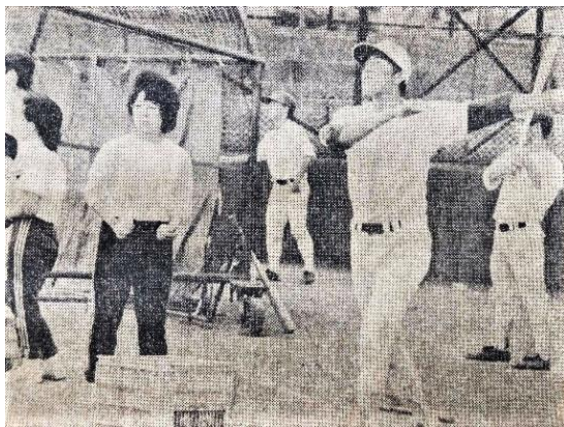
高校を卒業して大学へ進学するにあたっては、現代の経済・社会について勉強するつもりでしたので経済学部を選びました。でも、経済学部で私が最も魅力を感じたのは欧米の経済史で、冒頭の研究のやり方を学んだ恩師の授業でした。この授業も中野先生と共通するところがあり、歴史上の経済的事象が論理的に展開していました。

この先生（たち）のようなことをやってみたい。そう思ったのが40年以上前で、大学院進学、フランス留学、30年近く前に大学に職を得て、今後もしばらく続けていくことになると思います。私が研究者をめざそうと決心したのは大学に入ってからですが、高校で中野先生の授業を受けた時からその方向に向かい始めていたのかもしれない。

出合いに感謝

鈴木美智雄

高32回卒



練習風景 手前のノッカーが筆者

私が中学2年生になる春、先輩方が甲子園に出場され、ベスト8まで勝ち上がっていかれた姿をテレビで拝見し「自分も是非、掛西野球部に入って野球がしたい」と思い、念願叶って入部することが出来ました。

私が入学した年の夏の大会でも先輩方が甲子園出場を果たし、掛西野球部に来て良かったと思っていました。が、野球部の私の同級生からは「3年間走っただけで終わった男」と言われております。(笑)

と言うのも、私はピッチャーでしたがコントロールが悪く、監督から「美智雄は走つとけ」と言われ、野球部の皆さんと同じ練習をさせてもらえませんでした。今思えば、私の精神的な弱さから、バッティングピッチャーをする際に「ボールを当てて怪我をさせてしま

つたらどうしよう」との思いから、腕が縮こまっていたのだと思えます。

毎日6K

mのマラソ

ンコースを走り、戻ってからブルペンでピッチング練習をしておりました。そのおかげで、1年2年のマラソン大会では、野球部の中で1番でした。野球部の皆さん（先輩・同級生・後輩・監督等）との出会いがあり、合宿等では「同じ釜の飯を食う」ことができました。

高校を卒業し、今は社会人として関東で働いています。ご縁と言うのは不思議なもので、私が会社の野球部に入ったところ、掛西野球部OBの先輩が居たり、私が掛西野球部を目指すきっかけとなった甲子園出場キャッチャー松本さんと大学時代に同じ野球部の同級生だったと言う方がいたりして、様々な方々との出会いがありました。どこに行っても掛西卒の方々にお会いするご縁も不思議です。

今までに出会った方々から学ぶこと、反面教師となること等、この人達に出会ったからこそ今の自分がいるのだと感謝しながら生きていけたら良いなと思っています。



一番最初にもらった背番号

「11」ではないどころか



松本裕子

(旧姓 内田)

高32回卒

私の掛川西高に対する暗い印象。入るべき部活動もなく、打ち込める趣味もない閉ざされた世界。ここではないどこか広い所へ行く方法を模索する日々。長いこと自分の中では、触れられない過去の一部でした。

当然のように国立を目指すために理数系も勉強することから逃避したかったのです。私立英文科の方が客室乗務



講演会にて

員に合格しやすいというエビデンスを使い大人達に説明。当時、国際線を飛んでいた日本航空だけ受験し、合格。こうして、目標を定めて邁進するのが

私のスタイルになりました。夫の駐在に伴い渡英するまでの6年勤務。

30歳。帰国して子どもを保育園に入れ、国際幼稚園園長にパートタイムで採用され、外資系の紹介予定派遣でプレゼンをし、正社員から部内トレーナーに抜擢。その後、100人のコールセンターを作るプロジェクトを達成。

一時、店長として在庫管理を習う一環で、使っていたのが掛川の倉庫でした。外国人上司と駅に降り立つと不思議な気持ちになりました。翌年、課長に昇格。一方、外資は災害や不況があると上役からリストラ。ここからは、転職会社にお世話になります。

40歳。勤め人をしながら副業を開始。リストラで無職になったとある4月、マナー研修講師を単発で受けたところメイン講師としていきなり働くことができました。ちょうど、コーチングの資格を取ったので、土日に時々、セミナーを開催。外国人研修センターでも働きました。

55歳。こうして「勤め人」は、少し早めに卒業し副業を展開させて法人化し、東京都のインバウンド・アドバイザーなどを歴任。高校OG人間国宝の大角幸枝さんにもお会いできました。前の会社でずっと行っていた各地の発酵食品を「考現学」として研究することも行っています。今はコロナで自粛せざるを得ない部分もあるのは残念です。

年をとり、掛川を再び受け入れる時期となりました。帰省と合わせてお寺

でセミナーをしたり、講演会の講師をしたり、発酵食品で有名な工房を見学するイベントを行ったりしています。栃木県小山市で講演も数回。小山市は山内一豊が小山評定で、家康軍を関ヶ原に向かわせた場所です。掛川がご縁を作ってくれたと思っています。

*著書「世界一わかりやすい発酵ソムリエ・マニュアル」2018/6/15

発酵食品をさまざまな角度からアカデミックに古今東西、食文化、健康習慣、トレンドの移り変わり、世情など研究し、関係者と話をして発酵に関するソムリエ読本としました。



世界一わかりやすい発酵ソムリエ・マニュアル

ブラックジャックは何処へ

宮下好洋 高32回卒



バブル華やかなりし1980年代後半の或る夜。都内のパブにて、当時の先輩指導医との会話。

「君はどうかやって人様のお役に立とうと思っ

ているんだ？」

「え、えーっ？え、えーと・・」

「君は医者になれたんだから、せっかくな

ら人の役に立ちたいとは思わないか？」

「い、いや、立ちたいです。」

「君が一生懸命勉強し研究し、病気を解明し治療法を発見することで、今まで治らな

かった病気が治るようになるのだ。世界中の人が幸せになるんだよ。」

「はい。」

「できるだろう？」

「えーっとはい、いやっ、は〜できるかな〜。」

「もし君が医学を進歩させて人様のお役に立てる自信がないなら、他の方法もある。」

「・・・？」

「毎日、毎日、診察室で患者さんに接して、患者さんの言うことをよく聞いて、薬を出して、病気を治して差し上げる。それをず〜っと

続けるんだよ。」

「ん〜、はい・・。」



ところで小児科医という職業上、日々子供との関わりがあり、そして世の中には様々な子供がおります。

「はいっ、お口開けてね〜」

と、力の限り「イ〜ッ！、歯を食いしばり、その後「ブ〜ッ！、ブ〜ッ！」

と唾を吐きかけながら、泥だらけの靴でバイシクルキックを決めて来る、かわいいお子様。

コロナ時代となり、「モシモシするか、少しだけマスクしようね〜」とい

つてマスクを進呈して着けてあげると約1秒後に「マッシュク、いらぬい！」

と言つて新品のマスクをはぎ取り床にたたきつける元気なお子様。

予防注射をしようと準備をしていると、緊張がマックスに達したのか、「は

やくして〜、もうは・や・く・してっ！あ〜っ、チンチンがス〜ス〜するよ

〜！」と絶叫するお子様。

「おなか壊してるから、今日はお粥にしようか？」と提案すると、「おかゆ

きらい！」というので（今はほとんどの子供がお粥は食べたがりません）、

「じゃあうどんかな？」と言うと（ほとんどの子供はうどんが好きです）、

「うどんもきらいだから食べない！」と答えるのです。野暮と知りつつ

「え〜なんでうどん嫌いな？」と聞いてみたら、「だ

ってボク、そば派だもん」と答える粋な

三歳児。



ストレスがたまりそうな毎日も、かわいらしいお子様に囲まれて癒される日々なのです。

公園 パッチワークから ミルフィーユへ



山下英也
高40回卒

東京冀北会のみなさま、こんにちは。高40期の山下英也と申します。鎌倉在住です。仕事はグリーンインフラの分野で、都市や地域における自然資本の働きを大きくしたり持続させたりする分析や計画づくりをやっております。少し前、ある市から公園再編に係わる調査を依頼されました。多くの市町では公園の老朽化や維持管理費の増加が課題になっており、既存公園の再整備や再編の必要性が高まっていることによるご依頼でした。その際に私が学生時代に書いた日比谷公園の空間構成に係わる論文を読み返すことがありましたので、日比谷公園に絡め書かせていただきます。

日ごろ散歩などで利用している公園はありますか？よくある公園は芝生広場や遊具広場、花壇、ビオトープなど

があり、大きな公園になれば箱物も配置されています。これらの施設は植栽や園路で区分され、施設のパッチワークのようになっていて、大概古めの公園はこのようなくりです。今どきの公園設計では、限られた敷地を多目的に、広く利用することが求められることから、連続した空間（景観）にいろいろな機能をミルフィーユのように重層させ、敷地をできるだけ分割しないのが主流になっていきます。そこでなぜ日比谷公園かといいますと、日比谷公園ははじめてゾーニングによって設計された近代都市公園だからです。



春の日比谷公園の風景

建設前に作成された現存する設計案7案を観察すると、実施案となった本多静6案（明治34年）は先行する設計案において示された導入施設を引き継ぎ、施設に見合う絵柄をドイツから持ち帰った造園設計図集の中から3枚の図面を切り貼りして描いています。日比谷公園は戦後日本の都市公園の模範となったと言われていますが、その設計手法は明確に区分された空間の単位の成立と個々の施設や平面形態の

置き換えが可能なゾーニングを優先させるものでした。

近年では、このゾーニング優先による空間構成は、多様な公園ニーズを受け止めるには整合しづらく、ご依頼いただいた市の公園再編に係わる調査では、評価指標の一つとして「過度の地割」という評価軸を設け調査を行いました。

公園設計者はこんなことも考えているというご紹介でした。コロナ禍の息苦しさが続きますが、近くの公園や散歩道でホッとする時間をつくってみてはいかがでしょうか。

戦争 野球 密な青春

木嶋 愛 (旧姓 水谷)

高41回卒



この「東京東北」執筆のご案内を頂いたのをきっかけに、今年起きた印象深い出来事を思い返してみました。すぐに浮かんできたのはウクライナ



ウクライナ キーウ

戦争です。日本は今年で終戦七十七年を迎えましました。私が生まれた後にも世界では内戦、紛争がありましたが、ニュースや新聞の中だけのどこか遠いものでした。今回SNS等の発達によって現地での様子、実際の映像が日々自分の手の中(スマホ)に伝えられる事でより近い出来事として心に迫ってきます。一日でも早い収束を祈るばかりです。

少しでも力になれば、と方法を探してみると「ふるさと納税」やウクライナ製物品、寄付付き商品を購入することで支援できることがわかり、今は寄付や支援の形も色々あるんだなと感心しながら出来る範囲で細々と取り組んでいます。

そしてこの夏のコロナ第7波、家族全員ワクチンを3回接種し、手洗いウガイと気を付けてはいましたが、ついに感染してしまいました。高熱の為3日間動けず、やっとの思いで電話したかかりつけ医に「ごめんね、いっぱいでもう受けられないんだ」と受診を断られ医療ひっ迫の現実を思い知らされました。その後無事熱も下がり、自宅

療養で回復しましたが周囲や職場もまだまだ先が見えず…

第104回全国高校野球大会(掛西予選準決勝敗退、残念でした。相手の日大三島が甲子園にいったのだから、実質準優勝ですよね、笑)優勝した仙台育英高校須江監督が「青春てすごく密なので」と涙ぐむ姿にコロナ禍様々な機会を失い奪われた生徒は勿論、それを見守る先生、学校も悔しく悲しかったのだなと心打たれました。教室で机をくっつけて勉強したり、笑いあったり、時には泣いたりした私達が掛西で過ごした日々と違う様式で日常をすごさなければいけない今の掛西生はやはり少し窮屈だったり、色んなチャンスが少なかったりするのかな、と同情してしまいますが、その中でも密度の高い関係を友人と築いて、(心が)密な青春を過ごしてもらえれば、と願っています。



ふるさと納税
ウクライナ支援グッズ

私の中の掛川西高校

栗島 恵子 (旧姓 川口)

高46回卒



東京の夫の元に嫁いってから20年。3人の子供に恵まれ日々忙しく過ごしています。

つい先日、進路について悩んでいる中学2年生の娘に、どうやって高校を選んだのかと聞かれ、中学生の時の事や掛川西高校での記憶が蘇ってきました。

私の通っていた中学校は浜松商業高校と浜松北高校に挟まれた位置にありました。夏になると両校から野球の応援のためブラスバンドの奏でる音楽が流れ、陸上部だった私は「浜商は甲子園に行けるかな。浜北は1回戦勝てるかな」とわくわくした気持ちで練習していました。そんなスポーツ好きな私の3年間過ごしてきた環境が私も野球部の強い高校に行つて青春したいという気持ちにさせたのです。



診察室にて

私の通っていた中学校は多くの生徒が浜松北高校へと進学します。そのようなかで野球の強い高校へ行きたいと言っているのは本当に勇気のいることでした。ですが、それを聞いた父は、父の弟が卒業した掛川西高校を薦めてくれたのです。文武両道のいい学校だと。そして学区が違うけれど住まいが袋井市というところで受験することができました。

掛川西高校に通うようになり、中学校と違う空気に戸惑いました。周りの人間は皆ライバル的な雰囲気だった中学校と比べ掛川西高校の友人達は、テストの結果はさておき、がんばって勉強してきたら自分がどれだけがんばってきたのかを人前で堂々と言うのです。中学校の時、勉強全くとってません顔の友人に対し、がんばって勉強してきたんだから隠すことないのにと違和感を感じていた私はこれだ！と思いました。周りの目を気にすることも大事かと思いますが、周りを信用して発言でき、それを周りの人がちゃんと受けとめられるこの環境はとても居心地が良く、他人を認めることの結果、自分を

分析できるのだと、そこから色々なことが見えてくるのだと気付かせてくれました。

この3年間は私にとって自分をどう輝かせていくかを考える上でとても大切な時間だったと思っています。娘にも何かを発見できる高校に通ってもらいたいものです。

そんな私は新宿区にて夫と共に動物病院を2005年に開業し、仕事に育児にと充実した日々を過ごしています。近所の方々には「奥さん先生」と呼ばれ、数年前から小学校の職場見学や、中学校で獣医師の仕事とはどういったものがあるかなど獣医師の立場から地域に貢献できるようになりました。

今やりたいこと一つ一つを苦しいことも多いなか楽しく達成でき、笑顔で周りの人と接することができているのは掛川西高校のあの3年間があったからだとつくづく感じています。

野球の強い高校に行きたいという私の思いは当時の野球部の方が叶えてくれました。高校3年生の夏、甲子園に連れて行ってくれましたから。

野球の強い高校に行きたいという私の思いは当時の野球部の方が叶えてくれました。高校3年生の夏、甲子園に連れて行ってくれましたから。

【事務局紹介】

東京冀北会との出会い



鈴木泰子
(旧姓 原田)

高35回卒

高35回の鈴木泰子と申します。この度、思いがけず事務局に入ることになりました。どうぞよろしくお願いたします。

東京冀北会には2016年に初めて出席しました。当時、私は静岡の弟と両親を相次いで喪っていたのですが、その時に東京冀北会のご案内をいただいたのです。元来私は引込思案で、自発的に同窓会に参加することなどありえなかつたのですが、この会で(掛西出身の)父と弟の知り合いに会えるかもしれないと考え、出席してみようと思いました。

誘い合わせての参加ではないので知己はいないと思いましたが、同期の渡辺君と久しぶりに再会したり、初対面の先輩方が話しかけてくださったり、総会・懇親会では大変楽しい時間を過ごしました。そんな中、新来者の私に声を掛けてくださったのが端詰正子さんでした。端詰さんはその

後、高37回の嶽本あゆ美さんの演劇や、高39回の長谷川晴彦さんの能楽にお誘いいただきましたので、芸能の分野での同窓生の目覚ましい活躍に触れることができました。観劇後の先輩方との会食も大変楽しい時間です。東京冀北会に入ったことで、それまで忘れていた母校への帰属意識が生まれ、改めて掛西は良い学校だったな、と思っています。(高校在学中は何も考えずにボーっと学校に通っていたことを反省しています。)

会の運営を担ってこられた役員・事務局の方々のお働きと弛まないご努力に頭が下がります。関東における冀北会の灯を守り続けたいという理念に深く共感するとともに、何か少しでも自分のできることにしたいと思っております。コロナ禍での2年間のブランクを経て、今年は総会・懇親会が開催されるのは大変喜ばしいことです。皆様と一緒に校歌を歌い、応援団と共に掛川西高等学校にエールを送りましょう。

＜東京冀北会 役員＞

- 会長 橋本和久(高19)
- 副会長 端詰正子(高24)
- 野川雅江(高26)
- 杉山文章(高29)
- 代表幹事 杉森正彦(高28)
- 事務局長 後藤利康(高27)
- 事務局員 萩原隆司(高28)
- 鈴木泰子(高35)
- 野中俊文(高37)
- 廣畑淳也(高55)
- 黒田浩幸(高62)
- 会計監査 伊与部みち子(高21)
- 内田金男(高22)



静岡市葵タワーより富士山を望む

東京冀北通信

◆石田武 中44回卒
お陰様で現在92歳。至って元気です。

◆大石忠生 高2回卒
ご盛会を祈念申し上げます。

◆長谷川武司 高2回卒
91歳を過ぎました。今はパソコンで楽しんでます。会報を希望します。

◆竹中俊子 高6回卒
長い間お世話になりましたが、いろいろ片付けなければという歳になってしまいました。

◆伊藤卓三 高7回卒
元気ですが高齢につき欠席とさせて頂きます。

◆山本宗光 高7回卒
甲子園、今年期待していましたが、本当に残念でした。

◆川村弘史 高8回卒
久しぶりのご案内うれしく拝受致しました。老骨に鞭打って参加します。杉浦さんの話や母校の近況などを伺うことを楽しみにしています。

◆小杉慎二 高8回卒
杉浦佳子さんのお話が楽しみです。

◆佐野角夫 高8回卒
当面は海外のため、出席できません。皆様に宜しくお伝えください。

◆山下富士子 高9回卒
遠くへの外出がままならぬ様になりました。(腰・膝など故障のため)今後出席は難しいと思われまます。お手数をお掛け致します。宜しくお願致します。会の発展をお祈り致します。

◆花島美喜子 高9回卒
高齢となり自分が動きにくくなりますと、故郷の情報、特に母校の情報が楽しみ。今年も高校野球は毎日ずっと楽しみに新聞、テレビを見てました。

◆鷺山秀次郎 高9回卒
次回出席したいと思います。

◆赤岩覚 高10回卒
2年中止の後、ご盛況をお祈りします。

◆金子和子 高12回卒
幹事の皆様お疲れ様です。高齢になり足腰の衰えもあり、一人での外出が厳しくなりました。今後も出席できる機会も無くなりそうです。長年会への案内を頂き有難うございました。

◆鈴木建雄 高12回卒
いつも大変ご苦勞様です。これからも宜しくお願ひ申し上げます。

◆鈴木安彦 高12回卒
幹事の皆様には大変お世話になります。

◆藤江哲夫 高12回卒
4月に遠州横須賀三熊野神社例大祭に行き、神輿供奉山車順位表を作成し、9月にちいねり行列順位表も作成しました。10月の遠州横須賀街道ちっちゃな文化展に参加予定です。

◆山川俊宏 高12回卒
80代に入り、健康第一と考え、ラジオ体操、ウォーキング、野菜作りに励んでいます。人生は笑って、歌って、踊って、好きなことをするがモットーと心得ています。

◆神谷省吾 高13回卒
掛川市内の一般的なニュース等も、時々メール発信して頂けるとGOODかなと存じます。

◆若林宏和 高13回卒
80歳になりました。年を感じます。でも元気です。盛会を祈ります。

◆秋野文子 高14回卒
五行歌をつくっています。「明けの空、左手に持つ、ハーモニカ、ふるさとの歌、そつと吹く」

◆池田孝子 高14回卒
花の会研究会を月1回のスローペースで再開しました。久しぶりの冀北会楽しみます。コロナの心配なしに楽しく談話できるように祈りますよう祈っています。

◆戸田鶴世 高14回卒
体調を崩して今治すよう頑張っています。多分行けると思いますが、宜しくお願いいたします。

◆橋山高昭 高14回卒
月に1週間ほど、帰省し庭木の手入れ、除草に明け暮れております。あとは囲碁と歴史古街道を歩いています。

◆神谷達雄 高15回卒
諸般の都合で今回も出席できません。ご盛会をお祈りします。

◆清水康二 高15回卒
幹事の皆様、いつもご苦勞様です。

◆川島君子 高15回卒
いつもお世話さまです。仕事から完全に離れ、孫の世話に専念しております。

◆天方信久 高16回卒

◆伊藤智明 高16回卒
いつも東京冀北会のお手配有難うございます。今回は出席できませんが、宜しくお願いします。

◆竹原繁男 高16回卒
高16回卒も喜寿を迎えます。コロナで会えなかったたので、元気な姿を見せに行きます。

◆堀内伸恭 高16回卒
大阪へ行く用事があるため、欠席いたします。

◆石川啓行 高16回卒
同期の関東在住メンバーと時々寄合をしています。(コロナ禍の2019年以来休業状態ですが)

◆朝比奈豊 高18回卒
別団体の会合が有り、調整を続けましたが出席かなわず、残念です。杉浦さんの快挙には励まされました。ご盛会を祈ります。

◆栗田登喜雄 高18回卒
橋本会長、不参加で申し訳ありません。ご盛会をお祈り申し上げます。

◆池上澄夫 高19回卒
幹事ご苦勞様です。残念ですが当日他用が有り、出席できません。

◆伊藤彰 高19回卒
待ってました！「リモート飲み会」から「リアル飲み会」。対面での会話がとても楽しみです。会の英断に拍手！！

◆富永二郎 高19回卒
仕事の都合でその期間福島ですので、出席できず残念です。皆様に宜しくお伝え下さい。



◆橋本 和久 高19回卒
開催できると信じて準備をしまし
う。感染対策を万全にして安全な楽しい
総会・懇親会にしたいものです。

◆堀川 正 高19回卒
コロナに負けず東京冀北会盛会なる
ことを望みます。

◆稲葉 正晴 高20回卒
今年凶らずも病を得て、入院手術をし
ました。これを機に健康に留意し、心身
ともに明るく元気に過ごして参りたい
と思います。

◆武田 陽子 高20回卒
渋沢栄一翁、生誕の地。埼玉県深谷市
でたっぷりと陽に当たって暮らしてお
ります。税理士事務所の仕事も少し継続
し、主人とドライブを楽しんでおります。

◆中田 豊 高20回卒
金土日、自宅で洋服屋を営んでいるた
め、なかなか出席できなくて残念です。
◆伊与部 みち子 高21回卒
20数年ぶりに琴のお稽古を再開し
ました。最初は譜面をよむことさえでき
ませんでしたが、徐々に思い出してきま
しました。今は秋の発表会に向けて、一生懸
命練習しています。

◆妻木 良男 高21回卒
9月に東京冀北会ゴルフコンペに初
参加。スコアは悪かったのですが、楽し
いひと時を過ごさせて頂きました。

◆森田 重敏 高21回卒
役員の皆様、3年ぶりの総会開催有難
うございます。楽しみにしております。


◆原川 猛久 高21回卒
本年より故郷の実家に戻りました。

◆内田 金男 高22回卒
高22回卒の同期の皆様方、是非東京

冀北会総会でお会いしたいものです。

◆山村 十吉 高23回卒
3年ぶりの開催おめでとうございま
す。小生も8月コロナになり約2週間仕
事もできず棒に振りました。療養期間短
縮になったとはいえ、皆様もコロナには
お気を付け下さい。

◆端詰 正子 高24回卒
月1回写真サークルの月例会に参加
しています。一眼レフは難しくいつまで
たつても初心者ですが、写真を撮ってい
る時は他の事は忘れ楽しい時間です。

◆常世 佳江 高25回卒
今年も10月17日から2
2日に、銀座で個展を開きます。
作品「人の人・210」


◆大関 京子 高26回卒
杉浦さん、金メダルおめでとうござい
ます。同窓生として皆さんの勇気をい
ただきました。残念ですが予定が入って
いてお話を伺うことができません。是非
またお会いできますように。

◆加藤 典之 高26回卒
様々な情報をご提供いただきまして、
有難うございます。先日はBS日テレの
「三宅裕司のふるさと探訪」を楽しく拝
見いたしました。

◆西郷 篤雄 高26回卒
自宅近く自転車通勤で元気にパート
タイムで働いています。

◆坂下 裕明 高26回卒
申し訳ありませんが所用が有り欠席
させて頂きます。

◆中村 典子 高26回卒
杉浦さんの講話を楽しみにしており
ましたが、出席できなくなりとても残念

です。金メダルの最年長記録を更新なさ
るよう、応援しております。

◆野川 雅江 高26回卒
「がたごとのバス降りてより萩の道」

◆松島 広司 高26回卒
定年後細々ながら頑張っています。コ
ロナも今年2月に陽性になりました。コ
ロナも今年2月で快復しました。

◆石山 博巳 高27回卒
コロナ禍で約3年東京都内に行っ
ていません。毎日猫と遊び読書をして過
しています。

◆太田 裕一郎 高27回卒
大学院で社会学の勉強を続けながら、
時々薬剤師として妻の薬局で働いてい
ます。残念ですが学会と日程が重なり参
加できません。

◆川村 敏幸 高27回卒
夏の高校野球県大会、ノースードなが
ら健闘していました。来年も期待してい
ます。

◆白崎 智子 高27回卒
残念ながら仕事で参加できませんが、
3年ぶりの盛会をお祈りしております。

◆横地 章彦 高27回卒
元気で。引越準備で大変です。

◆岡山 靖 高28回卒
今年65歳になりました。同級生でも
まだ仕事の現場で頑張っているのを知
ると、私もまだまだ頑張らうと思っ
た今年でした。コロナに負けない体力を身
につけようとも思っています。元気に自分
らしくね。

◆樽松 正記 高28回卒
いつもありがとうございます。

◆石井 礼子 高28回卒
同窓会役員、事務局の皆様、いつもお
世話になっております。残念ながらコロ
ナの終息は見えてこない状態ですが、私
は病院勤務と孫の子守りに日々追われ
ています。元気に過ごしていることに感
謝しています。

◆山田 聡 高29回卒
皆様のご健勝を祈念いたします。

◆若本 まさ子 高31回卒
ご盛会となりますようお祈り申し上
げます。

◆松本 裕子 高32回卒
最近になり活動を知り、寄稿いたしま
した。今後とも縁がございましたら嬉し
く思います。

◆竹村 聖之 高34回卒
いつもご案内有難うございます。仕事
の都合で参加できず大変残念に思いま
す。会の皆様のご活躍に励まされてお
ります。益々のご活躍と会の発展を心から
祈念いたします。

◆嶽本 あゆ美 高37回卒
コロナ三年目、少しずつ通常の舞台公
演が出来るようになりました。9月に原
野谷中学校で演劇ワークショップしま
した。10月には『ワーニヤおばさん！』
という新作を上演
しました。ワーニヤ
伯父さんは絶望で
すが、おばさんはポ
ジティブです！来
年2月に森崎和江
の炭鉱の話を上演
します。これも女性
の物語、世界を元氣
にするのはおばさ
んです！



◆増田 奈美 高39回卒
土曜も仕事のため出席できず申し訳
ありません。3年ぶりのご開催おめでと
うございます。

◆長谷川 晴彦 高39回卒
10月9日の復曲能を観る会「和田酒
盛」公演はお陰様で国立能楽堂にて、多
くのお客様に現行曲とは異なる作品の
魅力を知って頂けたと思っております。
同窓会の日是新潟での公演が入って
おり、伺えませんが、久々に皆様にご挨拶
が出来ればと思つていたのですが、残念
です。10月1日には掛川の報徳社で



「能楽の集
い」という公
演も実施致
しました。伝
統文化の普
及にこれか
らも努めた
いと思つております。

◆木嶋 愛 高41回卒
杉浦佳子さんがお話しされるとのこと。
同級生として直接お祝いを言えていな
かったので、楽しみです。

◆藤永 操 高41回卒
杉浦佳子さんがいらつしやるこのこ
とで、私も是非参加したかったのですが、
娘の大学入試と重なり、残念ながら欠席
させて頂きます。パラでのご活躍とて
うれしく、埼玉クリテリウムも楽しみに
応援しております。お身体に気を付けて
益々頑張ってください。運営の皆様のご
力ありがとうございます。

多数のメッセージを
ありがとうございました。

訃報

◆大井 利作 中43回卒
2021年7月17日逝去

◆浅井 廣幸 高2回卒
2022年8月逝去

◆中村 幸雄 高3回卒
2021年11月10日逝去
(生前は大変お世話になりました。妻)

◆澤田 寛 高4回卒
2020年10月1日逝去

◆安達 昶久 高5回卒
2022年1月14日逝去
(永眠いたしました。これまで大変お世
話になり有難うございました。家族)

◆大村 光助 高5回卒
2021年12月24日逝去
(今まで有難うございました。家族)

◆諸井 務 高6回卒
2021年7月逝去

◆岩ヶ谷 永夫 高6回卒
2019年3月26日逝去
(夫は永眠いたしましたので、宜しくお
願いたします。妻)

◆川合 弘晃 高7回卒
2022年逝去
(生前のご厚誼有難うございました。長
男)

◆鈴木 正美 高7回卒
2013年逝去

◆佐藤 喜八郎 高8回卒
2021年5月29日逝去
(生前のご厚誼に深く感謝申し上げます。
冀北会の発展をお祈り致します。)

妻)

◆萩田 実 高10回卒
2022年1月27日逝去
(生前は何かとお世話になり感謝申し
上げます。妻)

◆望月 秋雄 高10回卒
2022年2月10日逝去
(長い間お世話になり有難うございま
した。家族)

◆尾崎 幸子 高14回卒
2022年7月26日逝去

◆松島 克守 高16回卒
2021年11月逝去
(76歳にて亡くなりました。これまで
長くご縁を頂き誠にありがとうございました。これま
で心より感謝申し上げます。皆様
のご多幸をお祈りしております。妻)

◆姉川 真樹 高20回卒
2019年9月6日逝去

◆黒屋 繁子 高20回卒
2020年逝去
(長い間有難うございました。夫)

◆山崎 勝己 高21回卒
2022年4月逝去
(今迄お世話になりました。家族)



ゴルフ有志の会

9月12日快晴の下、18人参加、朝3時起きで掛川から駆けつけてくれた人もいて無事終了、皆様のご協力に感謝します。年末開催プロゴルフのJTカップと同じコースで、ゴルフを堪能していただけたことと思
います。

次回もより多くの皆様のご参加をお待ちしています。

[連絡先] 松浦正幸(高20回) tel:090-4967-5041
メール: masa518matsu@yahoo.co.jp



2022/9/12 東京よみうりカントリー

幹事会 2022/7/20 JJK 会館にて



掛西野球部 サポーター募集 掛川西高校野球部後援会より



[後援会 Twitter
情報発信中]



年会費：12000円（試合球12球相当）
6000円（40歳未満）

<振込の場合>

名前・住所・携帯電話番号をメールにて連絡
静岡銀行掛川支店 普通 0437698
掛川西高校野球部後援会 会計 岡本昌太

令和3年は12年ぶり東海制覇、令和3年、4年全国高等学校野球選手権静岡大会準決勝進出（ベスト4）。今秋季県大会も期待されましたがベスト16の結果でした。ここ数年が甲子園出場に最も近い年になっています。来夏に向けて選手強化になる環境整備のためご支援をお願いします。

掛川西高校野球部後援会 ホームページ <https://kakenishibb.blog.fc2.com>

後援会事務局：メール kakenishi.kouenkai@gmail.com

Twitterでも情報を発信しています。掛川西高野球部後援会~official~ (@kakeko1901) / Twitter

祝！杉浦佳子さん



東京2020パラリンピック 自転車競技ロード種目2冠を達成し、今シーズンも大活躍中です。フランス「UCIパラサイクリングトラック世界選手権2022」の500mタイムトライアル、3000mパーシュート（女子C3クラス）と出場2種目ともに銀メダル受賞、予選で39秒004の「世界新記録」を樹立しました。おめでとうございます。

総合ビジネス誌『財界』2022/1/12 新春特別号

「我が母校・掛川西高校の良さと伝統を語ろう！」座談会参加者（OB 財界人）

常盤敏時氏（イオン環境財団監事）/朝比奈豊氏（毎日新聞グループホールディングス、毎日新聞社取締役）/榎葉淳氏（ソフトバンク代表取締役副社長執行役員兼COO）/櫻井宏明前校長も寄稿されています。

<抜粋>

- ・出身地の横須賀町、掛川市内、掛川城などの景色をふと思い出して、それが大変な癒しになる。10秒か20秒でも屋気楼のようなものが自分にあることはとても幸せなことです。（常盤）
- ・野球というのは…やはりチームだと。ビジネスも同じですし、野球部の練習や負けた時の辛い思いを考えると社会に出てから経験した辛いことも「まあ大丈夫ではないか」と思えたことはあると思います。（榎葉）
- ・何とんでも、やはり「郷里」という冠が高校時代にはついていきますからね。（常盤）
- ・掛川というと「大日本報徳社ですね」と言われることがありました。二宮尊徳の教えに「分度」と「推譲」があります。節度ある生活をして貯まった余財を家族・子孫・社会のために使おうという考え方です。…加えて高弟たちがさらに展開していった面があると…尊徳の思想はSDGs（持続可能な開発目標）を実現する有効な手法という見方をする研究者もいます。（朝比奈）
- ・「文武両道の伝統ある進学校」「チャレンジングな学校」…「最先端な英語教育」「ICT機器を活用した需要が充実」「社会に貢献するリーダーの育成」の7つのポイント…「自己有用感」中心に「主体性」「協働性」「創造性」を育み、これからの社会を切り拓く人材の育成を進めています。（櫻井）

*A4版7頁に亘って掲載されています。ネット等でバックナンバーを購入できます。



令和3年度東京冀北会収支報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(収入) 前年度繰越金	1,351,095円
年会費 (224名)	672,000円
預金利息	1円
収入合計 (A)	2,023,096円
(支出) 印刷費(案内状、会報等)	60,216円
総会通知郵送費(1,962通)	164,808円
郵送料(返信はがき・会報・幹事宛通知等)	66,210円
通信費(HPプロバイダー更新料)	11,910円
事務費・振込手数料	26,860円
案内状郵送作業費・講演依頼打合等	72,607円
支出合計 (B)	402,611円

(収支残高) (A - B) (次年度繰越金) = 1,620,485円

【資金管理】 郵便貯金	1,464,000円
みずほ銀行	152,810円
現金	3,675円

令和4年9月14日

会計監査 伊与部みち子(高21回卒)
同 内田金男(高22回卒)

事務局より



2022/10/26 最終打合せ・作業
(杉森正彦さんの会社会議室)

幹事学年(32回)の皆さん
当日は5人の参加でした。



校歌

作詞 藤井金吾
作曲 塙福寿

一 岩根ごごしき天守台
その麓にぞわが校は
基定めて逆川の
栄え行くこそ楽しけれ

二 雨降り嵐すさぶとも
指してや行かむ小笠山
希望の懸を射るまでは
めげず撓まず崩折れず

六 やがてまことの功なし
誉れは栄ゆる百錦
飾りて花の色そへよ
大和島根の山桜

第一応援歌

作詞・作曲 不詳

一 天守の森に草萌えて
志ある若人の
胸の血潮の燃ゆる時
咲くや万葉の花ごろも

二 青苔敷ける逆川の
青葉端月に風吹けば
熱血ほほにみなぎりて
見よや勇士のまなざしを

三 立てよ我等のますらをよ
ふるへ我等の同胞よ
七 百望みは胸に燃え
衷心至誠の血はおどる

【東京冀北会 Facebook】

<https://www.facebook.com/tokyo.kihokukai>

【メーリングリスト】 google グループ

登録問合先：東京冀北会 事務局

【東京冀北会ホームページ】 <http://www.tokyo-kihokukai.com/>

《編集後記》

副会長 端詰正子(高24)

コロナ第7波も落ち着いてきています。今年も会報に寄稿、投稿して下さった方々はじめ皆様、ご協力頂きありがとうございます。

会報で石山さんが日本史の中野敬一先生(昭和45年～57年在任)のことをとり上げられ、ビジネス誌「財界」では榛葉淳さんが「教科書にはない時代背景も教えてくれ、とても楽しい授業でした」と語っていました。私も邪馬台国、卑弥呼等の名前を耳にする「古代へのロマン」を熱く語って下さった中野先生のことを思い出しました。思い切って卒業名簿に記載のご自宅に電話してみました。電話が繋がりに家族の「お待ちください」の言葉にドキドキと胸が高鳴りました。先生は現在88歳、定年後82歳までは島田市博物館の古文書の講座で、その後は他の学習センターで講義されていたとのことでした。「先生の授業は私も含めてファンは多かったのです」とお伝えしたところ喜んでくださり私もとても感動し嬉しくなりました。

またHPの問合せ欄に「明治45年に掛西で教師をされていた藤井金吾先生の子孫の方に連絡をとれないか、藤井氏から自分の祖父(兵庫県尋常小学校校長)に宛てた手紙が出てきたので連絡をとりたい」旨のメールが横浜市の82歳の方から届きました。名簿旧職員欄に記載はなくネット検索したところ当会HPの三谷充弘さんの「歴史探訪」に行きつきました。そうでした。藤井金吾氏は掛西校歌の作者でした。

今年も編集を通して様々な貴重な出会いがあり、楽しい時間を過ごさせて頂きました。



発行日 令和4年11月
発行者 橋本和久
発行 東京冀北会

【東京冀北会 事務局 tokyo.kihokukai@gmail.com】